

# YCYH レースコース設営 マニュアル

## 1. マークブイの事前セット

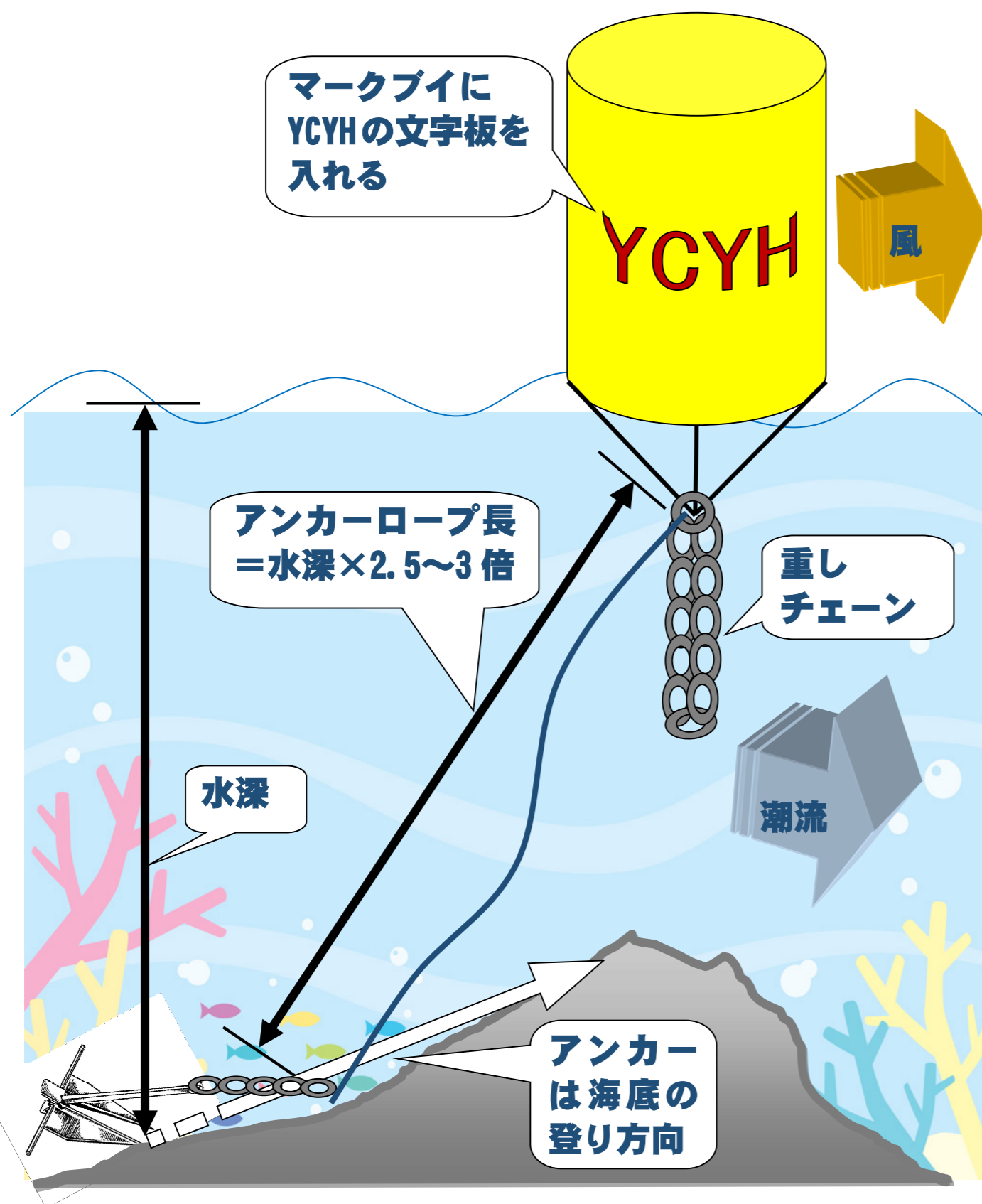
マークブイは、事前に船上等で左図のようにセット

- ① ブイ側面ポケットに「YCYH」の文字板を挿入
- ② ブイ下端のシャックルに重しチェーンとアンカーロープを固定
- ③ アンカーチェーンにアンカーロープを固定

## 2. マークブイの海上セット

- ① ブイのロープは水深の2.5~3倍とする。ロープは50m以上あり、5m毎に赤印あり
- ② レース海域の最風下で風軸に対して直角に本部艇の左にアウターブイ (No 2) を打つ  
風軸はハンドコンパスで確認する
- ③ 風上マーク (No 1) は、本部艇が風軸方向の角度を指示し、運営艇はレースエリア内の風上に打つ。ただし、次頁「底引き網漁エリア」のエリア外とする
- ④ ブイや自艇のアンカーは、風向と潮流を考慮し、海底斜面を登る方向に打つこと

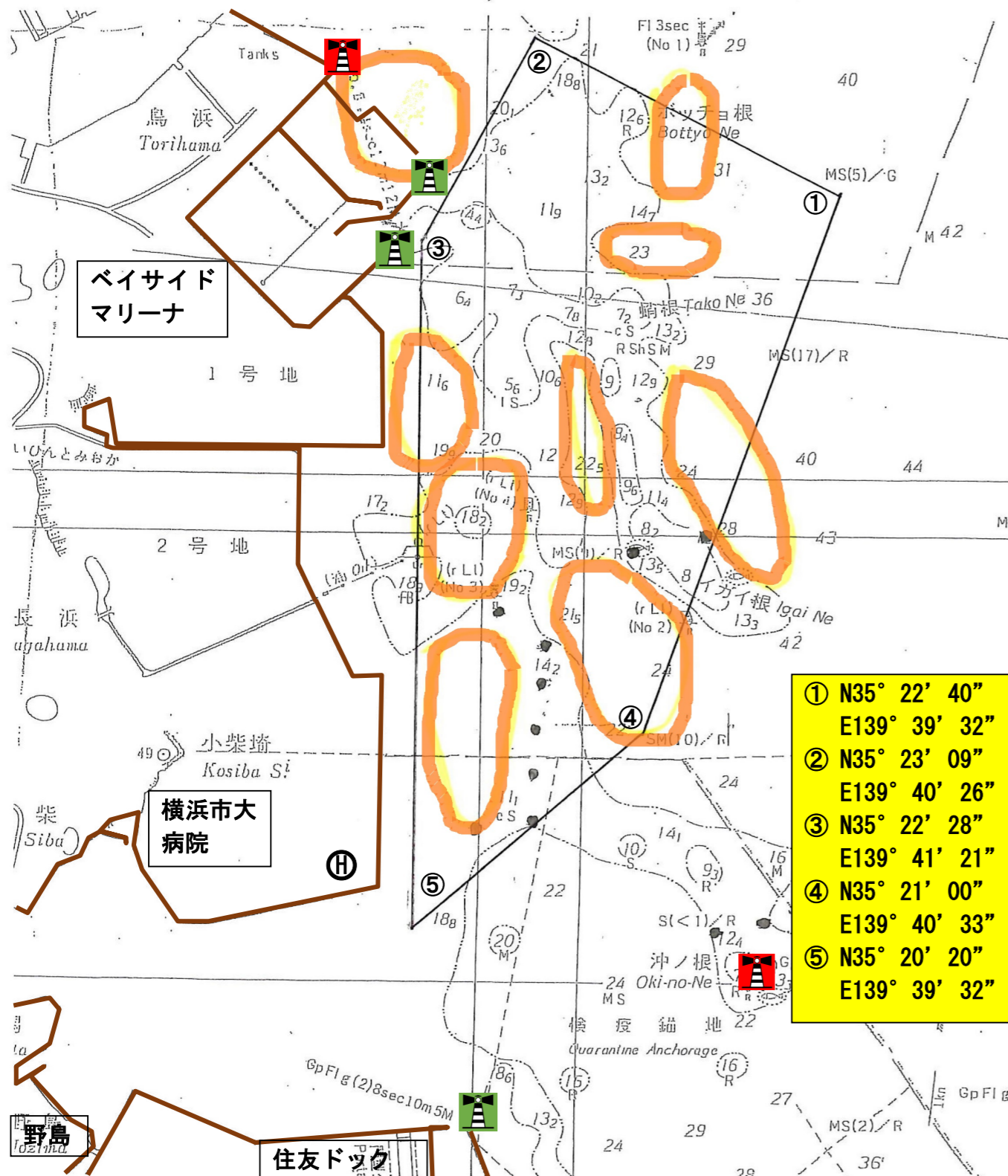
※レース終了後は、ブイ一式の潮出しすること



# YCYH レースコース設営 マニュアル

## <底引き網漁エリア>

オレンジ色エリア内は底引き網が通るので避ける



### <その他注意事項など>

◆ 全ての艇が安全にフィニッシュし、帰港できる条件である事  
その日のエントリー状況を考慮し海況、視程、風速等、見定める。  
また、マークの流れ、本部艇の走錨等、公平なレース運営を維持出来ぬ状況になれば、いつでも、中止する事を躊躇わぬ事。

◆ アウターマークまでの長さ  
参加艇全長のトータル×1.5  
仮に 30ft 艇が 10 艇のエントリーとすると、300ft×1.5=450ft (約 150m)  
気持ち広めの方が安全。

◆ 本部艇のアンカリング位置  
ズルい本部艇は、気持ち、アンカーラインを伸ばし、角度にして1° 位リミットマーク有利にする。すると、本部艇の近くでガチャガチャが起きにくい

◆ 上マークまでの距離  
本部艇は、その日の風速とその風速が落ちるのか、上がるのか、安定しているのか判断し、その日のエントリーリストを睨みながら、どの位のボートスピードが出るのかを総合的に判断し、上マークまでの距離を定める。ただし、定められたレース海域の中で、おおよそ上マークまで1時間弱位の距離が適当で、30分以下にならないようにする。

◆ レースコース設営時間  
アウターマーク、上マーク、本部艇それぞれの固定が確認出来、準備OKとなるまで、予告信号予定時刻の20分以上前に完了する事が望ましい。  
そうする事により、参加艇はラインを流し、レースの戦術を検討し、艇の各種点検を行えます。この時間帯は、予告信号までの真剣レースモードに入る前の楽しい妄想の時間です。

比較的良く起きる事ですが、全ての準備が整い、予告信号を揚げた途端に風が大きく振れ、「ありゃ、ドウショウ？」  
そのまま、スタートさせる、APを揚げ、準備をやり直す、全て本部艇の判断です。このあたりの判断は、本部艇の専権事項です。

余程、大掛かりなレースであれば、レース中でもマークの打ち変えを行いシビアな運営を行う事もありますが、YCYHでは現状、困難と思われます。  
参加艇も運営サイドも、目くじら立てずに、徐々に上達していければ、と考えます。